

# 健康保持・増進のための取り組み

## 東京ガスカスタマーサポート株式会社

「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に3年連続で認定

健康経営の観点から、「健康で安心な職場」を維持し、すべての従業員とその家族の健康保持・増進のための取り組みを行っています。

### 健康経営宣言

東京ガスカスタマーサポート株式会社は、企業理念として、やりがい、働きがいをもって「安心して気持ちよく働ける会社」を目指します。従業員一人ひとりが専門性を高め、マネジメント力を磨き、公私にわたり自分の未来が思い描ける会社、そして、「東京ガスカスタマーサポート」の一員であることが誇りに思える会社を目指しています。

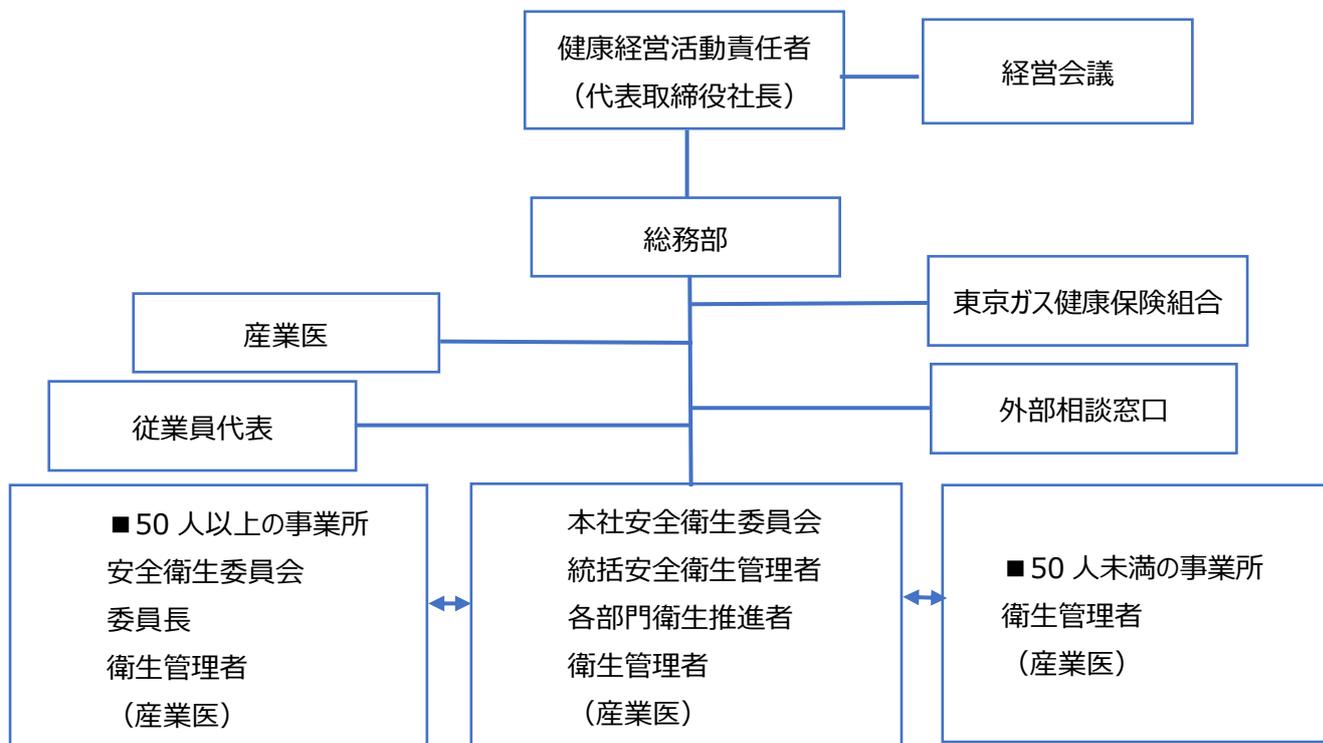
会社を支えるのは「人」です。従業員一人ひとりが心身ともに健康に働き、持てる力を発揮することが、会社の成長にもつながります。

私たちは、従業員の働きがい向上を実現し、社内コミュニケーションの活性化と職場環境改善、社員の心身の健康づくりを土台に、多様な人材が持てる力を発揮し、安心して仕事に取り組める、働きやすい職場づくりに努めることを宣言します。

東京ガスカスタマーサポート株式会社

代表取締役社長 田中 浩

### 健康経営の推進体制

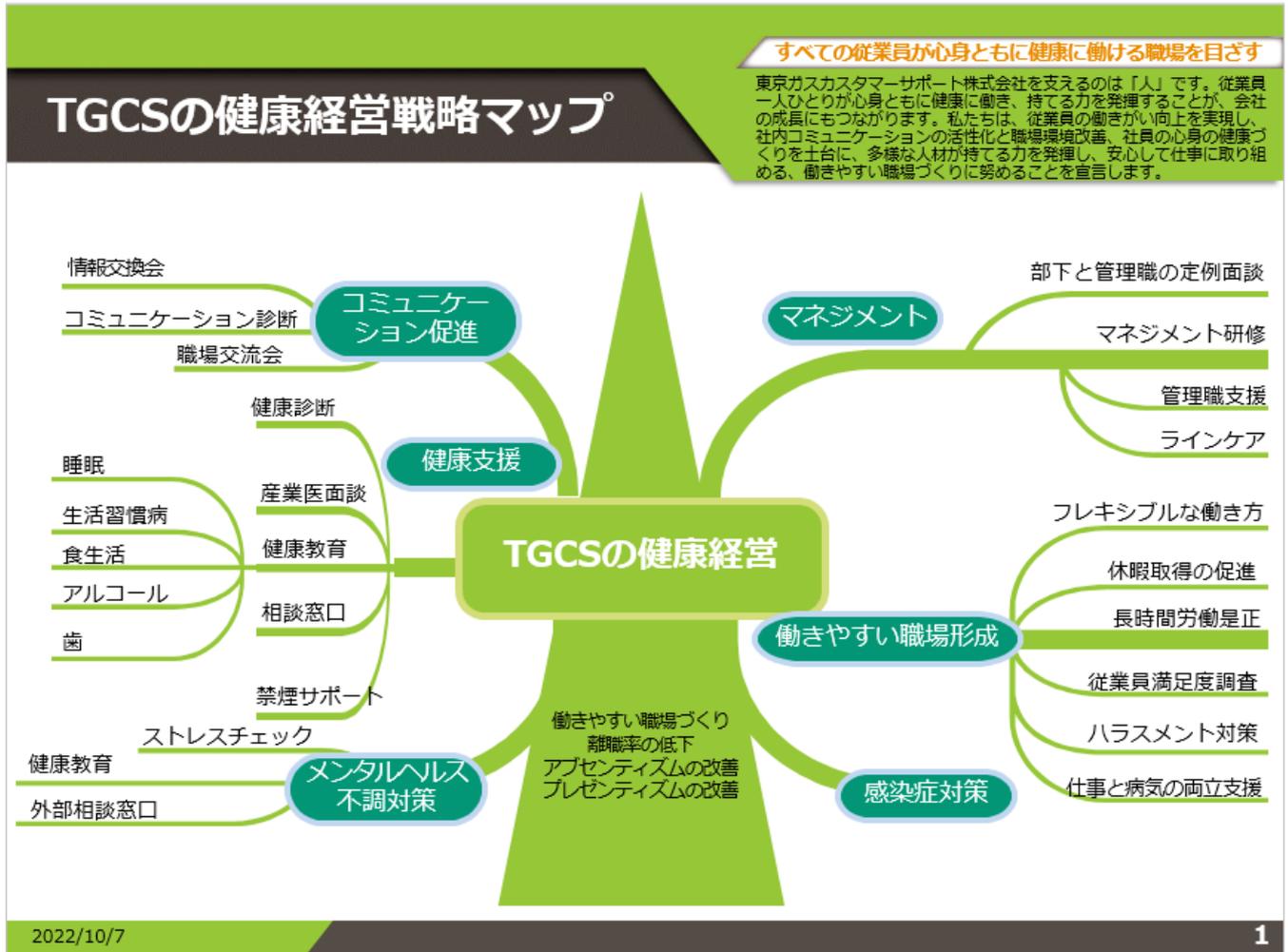


## 健康経営上の課題

東京ガスカスタマーサポート株式会社には様々な雇用形態の従業員がいます。それぞれがそれぞれの持てる力を十分に発揮し、一体となって成果をだすこと、また、どんなときでも安心して就業できる職場環境を実現することが会社を成長させていくと考えています。

健康経営の実施により、従業員一人ひとりが心身ともに健康でかつ安心して働き、パフォーマンスの向上と質の良い業務を通して、お客様、お取引様、社会に選ばれ続ける会社を目指します。

## 健康経営戦略マップ



参考	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
プレゼンティズムスコア* <sup>1</sup>	64.8%	63.4%	63.3%	64.7%

\*<sup>1</sup> プレゼンティズムスコア：WHO-HPQ（WHO 健康と労働パフォーマンスに関する質問紙）を用いて算出 2023 年度測定人数 913 人回答者 863 人 病気やけががないときに発揮できる仕事の出来を 100%として過去 4 週間の自身の仕事をパーセンテージで評価する

## 自社従業員の健康課題

社内全体の健康関心度（ヘルスリテラシー）は比較的高い\*ですが、男女別に見た喫煙率が全国的に高いことを健康課題としてとらえています。また、睡眠についての意識啓発、および十分に睡眠がとれていない人に対する支援を課題として取り組んでいきたいと考えています。

\*健康診断の問診票「生活習慣を改善してみようと思いますか」に、「改善するつもりである」「すでに取り組んでいる」と答えた人の割合：85.4%

## 健康経営の取り組み

### 1. 健康支援の促進

- 定期健康診断受診 受診率は例年 100%を達成
- 定期健康診断後の事後措置  
定期健康診断の結果は全例産業医が確認  
定期健康診断で要精密検査の判定を受けた社員に、受診勧奨実施  
〔指標〕受診勧奨 100% 2022 年度精密検査受診率 64.1%
- 感染対策  
インフルエンザ予防集団接種を実施し、気軽に受けやすい環境の整備  
インフルエンザ予防接種費用の助成  
会議室への HEPA フィルターや光触媒を用いた空気清浄機の設置  
二酸化炭素濃度測定器の購入など
- 特定保健指導  
東京ガス健康保険組合にて実施  
就業時間中の保健指導実施を認め、受診率の向上を図る  
〔指標〕2021 年度の保健指導不参加人数 1 名
- メンタルヘルスケア促進  
セルフケアやラインケアの情報提供と教育  
産業医による衛生講話、外部講師、階層別研修など  
全従業員対象の相談窓口の設置

### 2. 健康保持・増進

- 健康セミナーの実施  
毎月の衛生委員会にて産業医が 10 分程度の健康講話  
2023 年度のテーマ：運動、骨粗しょう症、歯、睡眠、メタボリックシンドローム他  
衛生講話の健康情報をポスターにして各職場に掲示  
外部機関と提携して階層別研修、テーマ別研修などの教育プログラムを用意  
女性の健康問題についての外部セミナーにハイブリッドで参加
- 喫煙対策  
扶養家族を含めた従業員の禁煙外来受診費用の助成  
世界禁煙デーの啓発  
禁煙促進のための検討委員会発足  
実現可能な目標値を設定  
〔指標〕(2020 年度) 18.0%→ (2021 年度) 16.4%→ (2022 年度) 17.3%  
〔目標〕禁煙希望者への支援 100%、2025 年度の喫煙率 15%以下
- 産業医図書館の設置  
心と体の健康保持増進・職場環境改善のための本を揃え、従業員への貸し出し
- 運動対策  
休憩室のマッサージチェアの設置  
ストレッチ動画作成

立ち会議室の設置

運動器具の購入

➤ ストレスチェックの実施

WEBとWEB実施ができない従業員のために、紙面の2通りで実施し、受検率向上を図っている

集団分析結果を経営会議内で審議

結果を反映した各種改善策の推進

〔受検率〕(2021年) 89.9%→(2022年) 92.2%→(2023年) 94.5%

➤ 骨密度計測イベント

衛生委員会での産業医の衛生講話と連動し実際に骨密度を計測

安全衛生委員会メンバー対象(参加率100%)

事後アンケートでの満足度 96%が次年度も実施希望

### 3. 働きやすい環境づくり

➤ 長時間労働の抑制

時間単位の有給休暇及びフレックスタイム制度の有効活用

〔指標〕平均有給休暇取得日数 2022年度 16.8日

時間外労働が一定基準を超える場合に産業医面談を実施

〔指標〕月平均所定外労働時間 2022年度 20時間

➤ 育児、介護、疾病と仕事の両立支援

くるみん認定(2009年)

トモニン(仕事と介護の両立支援)登録

えるぼし(最高評価3つ星)認定(2019年)

仕事と生活との調和を図り働きやすい職場環境を整備するための行動計画作成

〔目標〕管理職に占める女性割合 25%維持、男性従業員の配偶者出産休暇取得率 100%

〔指標〕管理職の女性割合 25.9%、男性の出産休暇取得率 80%(2022年度)

仕事と子育ての両立サポートのための行動計画作成、社内研修実施

〔目標〕有給休暇の取得促進、育児休業などの諸制度の周知

### 4. 労働安全衛生

➤ 衛生委員会の開催

50人以上の事業所で月1回開催

健康情報の定期的な発信

産業医による健康講話 / 事務局による月間重点項目の発信、啓発

定期健康診断受診項目の審議

ストレスチェックの進め方、過重労働対策についての審議

全社イベント開催の準備

作業環境の物理的要因の審議

職場巡視の徹底、専門家の指摘については改善前後について報告

労災報告、対策の審議(2022年度)

〔死亡災害〕0件

〔労働災害〕1件 巡視で現場を確認し、衛生委員会で報告、対策済み

以上